

領域	対象	評価項目	ご意見・ご提言
総括			<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な農業・農村が謳われ、輸入の肥料・燃料・資材・資料の不足が予想される中で、慣行農法から代替え農法を研究し学生に指導する必要も出てくるのではないか。 ○学校行事だけでなく学生もマスコミに登場するなど、情報発信に努力されていることが理解できる。 ○模擬経営と経営感覚に優れた若手農業経営者との交流の一層の推進を望む。 ○SDGsに関する授業を取り組んでほしい。 ○今年度はほぼ目標通り達成できたと評価する。引き続き目標達成へ向けた学校運営をお願いする。
教 育 活 動	学習指導	授業実習内容の充実 資格試験の合格率向上	<ul style="list-style-type: none"> ○GAP、起業・チャレンジ論などを設定し学生の将来を踏まえた教育を展開されている。今後も社会で必要とされる学習内容や事象等に対応してほしい。高校教育にも参考にしたい。 ○先進的な産地・施設や優良農家等への視察を重視してほしい。 ○プロジェクトで経済性の検討に多くの学生が取り組んだことは良かった。しかし、統計的に比較がされていないように見えるがどうか？ ○農業簿記検定（3級）の合格率がR1年度から半減した原因は？未受験者が多数存在したとあるが学生のモチベーションは？ ○簿記検定2級合格者が出たことは良かった。合格者の勉強方法等を研究し次に備えるべきと考える。
	進路指導	個々に適した進路選択、決定、実現を図るとともに、円滑な就農を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ○1年次から面談にも力を入れ、卒業生の就農率も59%など後継者育成に期待が持てる。高校からは就農希望の強い生徒が進学する傾向が強いことから、その希望をかなえられるよう一層の指導をお願いしたい。 ○就職率100%は評価できる。今後も積極的に就活を促すとともに学生へのサポートをお願いしたい。 ○学生の意見を聞き、希望に添える指導をお願いする。
	生活指導	社会的規範意識を高め、基本的生活習慣の育成に努める	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍での寮生活・共同生活は衛生面・対人面・メンタル面で苦勞されたと推察する。情報共有をしていると思われるが教職員の職務過多によるメンタル面も心配される。心療の専門機関等を活用してはどうか。 ○先輩・後輩の交流ができるイベントを学生とともに計画してほしい。
	学校運営	学生募集のPRをさらに充実する	<ul style="list-style-type: none"> ○農業法人合同説明会や体験学習では農業大学校のPRの機会になるとともに、高校生の進路選択に大きな役割を果たしている。農業高校との連携会議で工夫改善を加えていただき感謝している。引き続き支援をお願いしたい。 ○出願者を多く確保するためにより農業高校との連携を高めてほしい。